

別表1

## 平成30年 「技術士一次試験突破対策」カリキュラム及びスケジュール

## 1. カリキュラム

	研修方法	開催月	研修項目	研修目的	研修内容
1	第1回スクーリング (1日間)	6月	ガイダンス 試験突破対策 ①適性科目、 ②基礎科目	技術士制度と試験の仕組みの理解、 自己レベル確認の問題演習(適性科目/基礎科目) 適性科目、基礎科目講義、受講テキストの配布、 宿題を一括出題	開講式・制度と仕組み・合格者の体験談 試験科目の概要、演習と解答・解説 基礎科目、適性科目(過去の出題事例と解説)
2	自己研修 (通信教育)	6~7月	—	自己研修により問題に慣れる 宿題の提出	講師陣と郵便、メール、FAXによる質疑応答
3	第2回スクーリング (1日間)	7月	過去の出題傾向と対策 ③専門科目	過去の出題傾向を分析し、今年の出題を予測 自己レベル確認の問題演習(専門科目) 専門科目(電気電子/建設/情報工学)部門別講義	専門科目(過去の出題事例と解説) 演習と解答・解説
4	自己研修 (通信教育)	7~8月	—	専門科目について問題点を絞り込む 宿題の提出	講師陣と郵便、メール、FAXによる質疑応答
5	第3回スクーリング (半日/午後)	8月	最終模擬試験	模擬試験により実際の受験の雰囲気を経験	適性・基礎・専門について本試験と同じ時間数で実施
6	自己研修 (通信教育)	8~10月	—	模擬試験の結果、各自弱点を補う	講師陣と郵便、メール、FAXによる質疑応答

## 2. スケジュール

月	2	3	4	5	6	7	8	9	10
受験日程					受験申込書配布 受験申込開始				受験
研修日程					第一回合同研修	自己研修・通信添削 第二回合同研修	自己研修・通信添削 三回合同研修 (模擬試験)	自己研修・通信添削	↑

※ カリキュラム及びスケジュールは、進捗度、習熟度などにより変更する場合があります。その際は、事前に連絡いたします。